報徳＠なう
発行人
滝本一男

三の丸小学校で「SDGs」フードロスの授業

10 月 15 日に、小田原市立三の丸小学校で、当報徳食品支援センターの滝本理事長が 4 年生全員にパワーポイントを使い、クイズも織り交ぜて、授業を行いました。

「SDGs」は国連が立案した「持続可能な開発目標」（Sustainable Development Goals）の略です。地球を守り、すべての人が平和と豊かさを享受できるようにすることを目指す 17 項目に分かれた目標です。



当センターの活動に関わる目標は「貧困の撲滅」「飢餓ゼロ化」「すべての人に健康と福祉を」「作る責任・使う責任」に関わります。食べ物を必要とする飢餓人口は世界で 6 億人以上います。そして日本にもそういう人がいます。

当センターは、廃棄の可能性のある食品をメーカー、流通業者、一般家庭等から提供いただき、生活に困窮している方々に配布しています。

このような活動が、「SDGs」につながっています。

滝本理事長のお話の概略を以下お伝えします。

日本国内で 1 年間で排出される食品ロスは 462 万トンです。（令和 5 年度推計）家庭で出る食品ロスは約その半分です。家庭では、作り過ぎ・食べ残し等があります。



また、お店や工場では、売れ残り・見た目が悪い（曲がったきゅうりなど）、パッケージ等のモデルチェンジ、包装が少し破れた・輸入検査で抜き取られたもの等、まだ、中身は問題なく食べられるのに捨てられてしまうものもあります。

捨てられるはずの「もったいない食品」を提供していただき、それを「必要な人」に届けるのがフードバンクの仕事です。私たち報徳食品支援センターは、そのフードバンクの仕事を行っています。そして、各家庭でもできることが「フードドライブ」です。家庭で余った食品を集めて、フードバンク等へ寄付する活動を、フードドライブと言います。

そして、皆さんも「SDGs」の精神を理解して

① 食べ残しをしない
② 賞味期限をチェックする
③ 家族と話し合い、食品を大切にすること

を心がけてください。

以上のような講義に対し生徒たちの感謝と感想の文章が寄せられています。抜粋で紹介させていただきます。

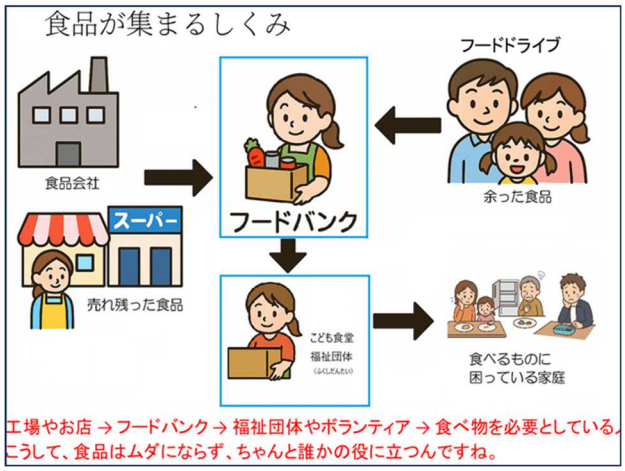
『総合（学習）で食品ロスを調べているので、多少のことは知っていたのですが、フードバンクのことは知らなかったので、すごく勉強になりました。』

『家庭の食品ロスやお店の食品ロスを教えてくれてありがとうございます。・・・・給食を残さないように頑張ります。』

『帰ったら、わたしはお母さんやお父さんに・・・教えてあげます』

生徒みんなが「SDGs」を理解してくれて、またフードバンクの仕事にも協力してくれるとうれしいです。このような機会を与えていただいた小田原市役所・三の丸小学校に感謝申し上げます。

SDGs出前授業



報徳食品支援センター　〒250-0212 小田原市西大友 136－1　℡070-1432-9559　houtoku.foodbank@gmail.com

食品頒布会においしい料理が登場‼

報徳食品支援センターには、プロ仕様の調理設備があります。そして、一流レストランに働いていた元シェフがいます。そのシェフと友人は、世界各国の料理を学んでいて、高級なフランス料理も、中華料理も作れます。お菓子・ケーキも作れます。しかし、ここで作るものは一般家庭でおなじみの惣菜料理です。

今回は、高齢者向けの惣菜料理を作りました。写真はできあがったおこわをパックしている様子です。





おこわ

その他、鯖の味噌煮やチキンカツも作りました。



鯖の味噌



チキンカツ

10月の上旬、6ヶ所の小田原市営住宅にお住まいの、高齢独居の方を対象に、調理した温かい料理を提供しました。

普段食べられているような家庭料理を主に調理して、2ヵ月に一度お届けしています。加工食品に加え手作りの料理の存在は、食卓に楽しさが増しているかなと思っています。



食品



料理

食品頒布会は、食品をお渡しする場であり、食べる場所ではなかったので、あとでお聞きしたら、喜んで食べていただいたということです。

このような料理をこれからも提供してまいります。調理器具購入のためにご寄付いただきました個人・団体の方々に感謝申し上げます。

年の瀬、クリスマスが近づいています。なにかいいことがあると良いですね。

可動式ラックで在庫能力アップ

衛生上、食品を床に平積みすることは望ましくありません。また、本部の在庫能力増強は長年の課題でした。しかしながら、当センターはNPOでお金がありません。ということで、可動式ラックを手作りすることにしました。

当センター滝本理事長が、玄人裸足の日曜大工マニアでしたので、彼の設計・施工指揮で作りました。ラックは木材で、4列3層の棚です。柱は2×4の木材で、床板はコンパネです。ラックごとに通路を作るとスペースが限られます。床にローラーコンベアーのレールを引き、ラックを可動式にして、一方に寄せることができるようにしました。素人離れした構想です。

費用は木材・金具等で6万円程度です。ローラーコンベアーもメーター単位で買うことでほぼ9万円です。工賃はただで、利益も消費税もかかりません。業者に頼むより大幅に安かったと思います。



皆様にはいつもご支援おねがいしていますが、私たちも、当センターのフードバンク事業運営のために、知恵も体も使っています。

編集後記

2021年から物価は上がりっぱなしです。毎年約3%の上昇です。主食のコメは高止まりです。コロナが終わっても物価高です。給料は物価高に追い付いていません。さらに、年金暮らしの高齢者の生活は困窮の度を深めています。政府の円高対策・物価対策を期待したいところです。

来年も、私たち報徳食品支援センターの役割はさらに必要なものになってくると思われます。皆様方の来年のご多幸を祈念し、変わらないご支援をお願い申し上げます。